

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

製品名	SUPER FLEX COATING SPRAY (スプレーコーティング缶)
事業所	株式会社テルサント
住所	大阪府吹田市豊津町 10-34
担当部門	事業企画部
電話番号	06-6310-3123
FAX 番号	06-6310-3133
推奨用途及び使用上の制限	耐溶剤性・撥水・汚れ弾き特殊コーティング剤

## 2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類、GHS ラベル要素

### GHS 分類

物理化学的危険性

エアゾール：区分 1

引火性液体：区分 2

健康に対する有害性

急性毒性（経口）：区分 4

急性毒性（経皮）：区分 3

急性毒性（吸入）：区分 3

皮膚腐食性/刺激性：区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 2

呼吸器感作性：区分 1

皮膚感作性：区分 1

生殖細胞変異原性：区分 2

発がん性：区分 2

生殖毒性：区分 1A

生殖毒性・授乳に対する又は授乳を介した影響：追加区分

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 1

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 2

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 3（麻酔作用）

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分 1

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分 2

(注) 記載なき GHS 分類区分：区分に該当しない/分類できない

### GHS ラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

極めて可燃性の高いエアゾール

高压容器：熱すると破裂のおそれ

引火性の高い液体及び蒸気

飲み込むと有害

皮膚に接触すると有毒  
吸入すると有毒  
皮膚刺激  
強い眼刺激  
吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
遺伝性疾患のおそれの疑い  
発がんのおそれの疑い  
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
授乳中の子に害を及ぼすおそれ  
臓器の障害  
眠気又はめまいのおそれ  
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

#### 注意書き

##### 安全対策

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。  
裸火または他の着火源に噴霧しないこと。  
容器を密閉しておくこと。  
容器を接地しアースをとること。  
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。  
火花を発生させない工具を使用すること。  
静電気放電に対する措置を講ずること。  
使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。  
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。  
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。  
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
指定された個人用保護具を使用すること。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

##### 応急措置

火災の場合：指定された消火剤を使用すること。  
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。  
医師に連絡すること。  
気分が悪いときは医師に連絡すること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。  
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。  
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。  
皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。  
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。  
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。  
口をすすぐこと。

飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。

##### 貯蔵

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

日光から遮断し、50℃以上の温度にばく露しないこと。  
 廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。  
 エアゾール製品に関する高圧ガス保安法の警告注意表示  
 使用中噴射剤が噴出する構造のもの（火炎発生状態試験による火災が認められるもの又は噴射剤として可燃性ガスを使用しているもの）

## 火気と高温に注意

高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記の注意を守ること。  
 炎や火気の近くで使用しないこと。  
 火気を使用している室内で大量に使用しないこと。  
 高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が40℃以上となる所に置かないこと。  
 火の中に入れていないこと。  
 使い切って捨てること。

### 特定の物理的及び化学的危険性

高圧の引火性ガスが入っている。加熱、衝撃等により破裂する危険性がある。  
 非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。  
 燃えやすいガスが入っている。ガスが滞留すると爆発の恐れがある。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：  
 混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化管法 管理番号
ポリオールレジン	7-9	非開示	-
シリコン系添加剤	3-5	非開示	-
ジメチルエーテル	30-40	115-10-6	-
イソシアネート	6	106-68-8	管理番号448
シクロヘキサノン	30-35	108-94-1	-
アセトン	5	67-64-1	-
トルエン	4-5	108-88-3	管理番号300
プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート	3	108-65-6	-
メチルエチルケトン	1-3	78-93-3	-

### 危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

シクロヘキサノン，アセトン，トルエン，メチルエチルケトン

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

シクロヘキサノン，アセトン，トルエン，メチルエチルケトン

化管法「第1種指定化学物質」該当成分

ポリメチレンポリフェニルポリイソシアネート

### 4. 応急措置

- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。応急措置の後、医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合：汚染された衣類を速やかに脱ぎ、多量の水と石鹼で皮膚を洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。応急措置の後、医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合：水で口の中を洗浄し、医師の診断を受ける。揮発性の液体なので、無理に吐

かせない。  
応急措置をする者の保護 : 保護具を着用する。

## 5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤

水を使用してはならない。

水(棒状水、高圧水)、棒状強化液

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

可燃性のものを周囲から素早く取り除く。

指定の消火剤を使用すること。

高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。

消火活動は風上より行う。

容器が高温で破裂する恐れがあるので消火活動には十分距離を取ること

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

適切な保護具を着用する。

着火源を取除くとともに換気を行う。

振とうすると内容物が噴出する恐れがあるので、注意して取り扱うこと。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。

乾燥した土、砂、不燃材料に吸収もしくは覆って容器に移す。

清浄な帯電防止工具を用いて吸収したものを集める。

二次災害の防止策

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

裸火または他の着火源に噴霧しないこと。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する措置を講ずること。

安全取扱注意事項

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。

40℃以上の所では取り扱わないこと。

40℃以上に暖めないこと。

30秒以上の連続使用をしないこと。

噴射を継続すると、凍傷や炎症を起こす恐れがある。

#### 衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

#### 保管

##### 安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

40℃以上の所で保管しないこと。

水回りや湿度の高い所に保管すると容器が腐食して破裂の恐れがあるので保管場所に注意すること。

(避けるべき保管条件)

日光から遮断し、50℃以上の温度にばく露しないこと。

安全な容器包装材料データなし

##### 特定の最終用途

特定の最終用途に関する情報なし

## 8. ばく露防止及び保護措置

#### 管理指標

##### 管理濃度

(シクロヘキサノン)

作業環境評価基準(2009) <= 20ppm

(アセトン)

作業環境評価基準(2004) <= 500ppm

(トルエン)

作業環境評価基準(2009) <= 20ppm

(メチルエチルケトン)

作業環境評価基準(1995) <= 200ppm

##### 許容濃度

(シクロヘキサノン)

日本産衛学会(1970) 25ppm; 100mg/m<sup>3</sup>

(アセトン)

日本産衛学会(1972) 200ppm; 475mg/m<sup>3</sup>

(トルエン)

日本産衛学会(2013) 50ppm; 188mg/m<sup>3</sup> (皮)

(メチルエチルケトン)

日本産衛学会(1964) 200ppm; 590mg/m<sup>3</sup>

(シクロヘキサノン)

ACGIH(2003) TWA: 20ppm;

STEL: 50ppm (眼及び上気道刺激)

(アセトン)

ACGIH(2015) TWA: 250ppm;

STEL: 500ppm (上気道及び眼刺激; 中枢神経系障害)

(トルエン)

ACGIH(2020) TWA: 20ppm (中枢神経系、視覚及び聴覚障害; 女性生殖系影響; 妊娠損失)

(メチルエチルケトン)

ACGIH(1992) TWA: (200ppm);

STEL: (300ppm) (上気道刺激; (中枢神経系及び末梢神経系障害))

##### 特記事項

(シクロヘキサノン)

皮膚吸収

(トルエン)

聴力障害

EU作業環境許容濃度(EU指令91/332/EEC~2019/1831/EUに準拠)

(ジメチルエーテル)

LTEL: 1920mg/m<sup>3</sup>; 1000ppm

(シクロヘキサノン)

LTEL: 40.8mg/m<sup>3</sup>; 10ppm

STEL: 81.6mg/m<sup>3</sup>; 20ppm (皮膚吸収)

(アセトン)

LTEL: 1210mg/m<sup>3</sup>; 500ppm

(トルエン)

LTEL: 192mg/m<sup>3</sup>; 50ppm

STEL: 384mg/m<sup>3</sup>; 100ppm (皮膚吸収)

(プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート)

LTEL: 275mg/m<sup>3</sup>; 50ppm

STEL: 550mg/m<sup>3</sup>; 100ppm (皮膚吸収)

(メチルエチルケトン)

LTEL: 600mg/m<sup>3</sup>; 200ppm

STEL: 900mg/m<sup>3</sup>; 300ppm

ばく露防止

保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

有毒ガス用防毒マスクを着用する。

密閉された場所では送気マスクを着用する。

手の保護具

有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

眼の保護具

取扱いには保護メガネを着用する。

皮膚及び身体の保護具

取り扱う場合には皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。

また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

## 9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

色：透明

臭い：溶剤臭

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点：(-23.6°C) 80°C

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：

爆発下限：(1.0vol %) 1.1vol %

爆発上限：(26.7vol %) 11.5vol %

引火点：(-41.0°C) -9.0°C

自然発火点：(350°C)420°C

分解温度データなし

pHデータなし

動粘性率データなし

溶解度：

水に対する溶解度：不溶

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度：(0.66-0.68) 0.96g/cm<sup>3</sup>

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

その他のデータ

( )内は噴射剤のデータを示します。

## 10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

避けるべき条件

強酸、強アルカリを避けること

常用温度で容器内圧は4.5kg/cm<sup>2</sup>であり、容器耐圧から考えて80℃程度になると破裂する恐れがある。

噴射剤に継続して触れると凍傷や炎症を起こす恐れがある。

混触危険物質

酸化性物質

危険有害な分解生成物

炭素酸化物

一酸化炭素、低分子モノマー等の有害性ガスが発生する。

## 11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[製品]

区分 4, 飲み込むと有害

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(ポリメチレンポリフェニルポリイソシアネート)

male rat LD50 >10000mg/kg (REACH登録情報, Accessed Oct. 2020)

(シクロヘキサノン)

rat LD50=800-1840mg/kg (SIDS, 2009)

(メチルエチルケトン)

rat LD50=2737mg/kg (環境省リスク評価第6巻, 2008)

急性毒性(経皮)

[製品]

区分 3, 皮膚に接触すると有毒

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(ポリメチレンポリフェニルポリイソシアネート)

rabbit LD50 >9400mg/kg (AICIS IMAP, 2013)

(シクロヘキサノン)

rabbit LD50=947mg/kg (PATTY, 2001)

急性毒性(吸入)

[製品]

区分 3, 吸入すると有毒

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(ポリメチレンポリフェニルポリイソシアネート)

mist (aerosol): rat LC50=0.49 mg/L/4hr (AICIS IMAP, 2013)

(シクロヘキサノン)

vapor: rat LC50=2450ppm (ACGIH, 2003)

(メチルエチルケトン)

vapor: rat LC50=11700ppm/4hr (PATTY 6th, 2012)

労働基準法: 疾病化学物質

アセトン; シクロヘキサノン; トルエン

#### 局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[製品]

区分 2, 皮膚刺激

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(シクロヘキサノン)

ラビット (SIDS, Access on Apr. 2009)

(メチルエチルケトン)

ラビット 中等度の刺激性 (SIDS, 2011 et al)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 2, 強い眼刺激

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(ポリメチレンポリフェニルポリイソシアネート)

刺激性 (DFG MAK, 2008) et al.

(シクロヘキサノン)

ラビット (SIDS(access on Apr, 2009))

(アセトン)

ラビット 角膜上皮の破壊4から6日で回復 (SIDS, 2002)

(プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート)

ラビット 軽度から中等度の刺激性 (SIDS, 2003)

(メチルエチルケトン)

ラビット 重度の刺激 (SIDS, 2011 et al)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性

[製品]

区分 1, 吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(ポリメチレンポリフェニルポリイソシアネート)

cat. 1; human/外因性アレルギー性肺炎 (DFG MAK, 1992)

皮膚感作性

[製品]

区分 1, アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(ポリメチレンポリフェニルポリイソシアネート)

cat. 1; Sah (気道皮膚感作性物質) (DFG MAK)

(シクロヘキサノン)

cat. 1; FROSCHE, TEXTBOOK OF CONTACT DERMATITIS

生殖細胞変異原性

[製品]

区分 2, 遺伝性疾患のおそれの疑い

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(シクロヘキサノン)

cat. 2; rat : SIDS, 2009

## 発がん性

### [製品]

区分 2, 発がんのおそれの疑い

### [成分データ]

[日本公表根拠データ]

(ポリメチレンポリフェニルポリイソシアネート)

cat.2; MAK (DFG) Category 3B (DFG MAK, 2015)

[IARC]

(ポリメチレンポリフェニルポリイソシアネート)

Group 3: ヒトに対する発がん性については分類できない

(シクロヘキサノン)

Group 3: ヒトに対する発がん性については分類できない

(トルエン)

Group 3: ヒトに対する発がん性については分類できない

[ACGIH]

(シクロヘキサノン)

A3(2003): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(アセトン)

A4(2015): ヒト発がん性因子として分類できない

(トルエン)

A4(2020): ヒト発がん性因子として分類できない

## 生殖毒性

### [製品]

区分 1A, 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

追加区分, 授乳中の子に害を及ぼすおそれ

### [成分データ]

[日本公表根拠データ]

(シクロヘキサノン)

cat. 2; rat: SIDS, 2009

(アセトン)

cat. 2; EHC 207, 1998

(トルエン)

cat. add; SIDS(J), Access on Apr. 2012

(トルエン)

cat. 1A; NITE初期リスク評価書 87, 2006

## 催奇形性データなし

## 特定標的臓器毒性

### 特定標的臓器毒性(単回ばく露)

### [製品]

区分 1, 臓器の障害

区分 3, 眠気又はめまいのおそれ

### [成分データ]

#### [区分1]

[日本公表根拠データ]

(ポリメチレンポリフェニルポリイソシアネート)

呼吸器 (DFG MAK, 1992)

(シクロヘキサノン)

呼吸器系 (SIDS, 2009)

#### [区分2]

[日本公表根拠データ]

(シクロヘキサノン)

中枢神経系 (SIDS, 2009)

(メチルエチルケトン)

腎臓 (HSDB, 2014)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(アセトン)

気道刺激性 (ACGIH 7th, 2001)

(プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート)

気道刺激性 (SIDS, 2008)

(メチルエチルケトン)

気道刺激性 (環境省リスク評価第6巻, 2008)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

(ジメチルエーテル)

麻酔作用 (DFGOT vol.1, 1991)

(シクロヘキサノン)

麻酔作用 (SIDS, 2009)

(アセトン)

麻酔作用 (ACGIH 7th, 2001)

(プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート)

麻酔作用 (SIDS, 2008)

(メチルエチルケトン)

麻酔作用 (環境省リスク評価第6巻, 2008)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[製品]

区分 1, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(ポリメチレンポリフェニルポリイソシアネート)

呼吸器 (AICIS IMAP, 2013; DFG MAK, 1992)

(シクロヘキサノン)

中枢神経系、骨 (ACGIH, 2003)

(アセトン)

消化管、中枢神経系、呼吸器 (ATSDR Addendum, 2011)

(メチルエチルケトン)

神経系 (ACGIH 7th, 2001)

誤えん有害性データなし

\*記載がない危険有害性は「分類できない」「区分に該当しない」または「区分情報なし」である。

## 12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(ジメチルエーテル)

魚類 (グッピー) LC50 > 4000mg/L/96hr (IUCLID, 2000)

(シクロヘキサノン)

魚類 (ファットヘッドミノー) LC50=527mg/L/96hr (CERI, 2000)

(アセトン)

魚類 (ファットヘッドミノー) LC50 >100mg/L/96hr (EHC207, 1998)

(プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート)

藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) ErC50>1000mg/L/72hr; 甲殻類 (オオミジンコ) EC50=3

70mg/L/48hr; 魚類 (メダカ) LC50>100mg/L/96hr (環境省生態影響試験, 1997)

(メチルエチルケトン)

魚類 (ニジマス) LC50 > 100mg/L/96hr (環境庁生態影響試験, 1996)

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(メチルエチルケトン)

藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) NOEC=93mg/L/72hr (環境庁生態影響試験, 1996)

水溶解度

(ジメチルエーテル)

4.6 g/100 ml (PHYSPROP\_DB, 2008)

(シクロヘキサノン)

2.5 g/100 ml (PHYSPROP\_DB, 2005)

(アセトン)

100 g/100 ml (PHYSPROP\_DB, 2005)

(プロピレングリコ-ルモノメチルエ-テルアセテ-ト)

19.8 g/100 ml (ICSC, 1997)

(メチルエチルケトン)

29 g/100 ml (20°C) (ICSC, 1998)

残留性・分解性

[成分データ]

(メチルエチルケトン)

急速分解性あり (20日後のBOD分解度=89% (SIDS, 2011))

生体蓄積性

[成分データ]

(ジメチルエーテル)

log Pow=0.1 (ICSC, 2002)

(シクロヘキサノン)

log Pow=0.81 (ICSC, 2004)

(アセトン)

log Pow=-0.24 (ICSC, 2009)

(メチルエチルケトン)

log Pow=0.29 (ICSC, 1998)

土壤中の移動性

土壤中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

### 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。

排水処理等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

特別管理産業廃棄物に該当するので、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

中身を使い切ってから廃棄する。

廃棄はガスを抜いた後に行うこと。(噴射音がしなくなるまで)

ガスを抜く際には、火気及びミストの吸入などについて注意すること。

塗料及びガスが出なくなるまで使い切った後でも、そのまま火中に入れると破裂する恐れがあります。

汚染容器及び包装

使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。

### 14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号 : 1950

正式輸送名 :

エアゾール、可燃性 (容積が1L以下で、再充電ができないものであって、かつ、備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。)

分類または区分 : 2.1

容器等級 : 該当しない

指針番号: 126

特別規定番号 : 63; 190; 277; 327; 344; 381

ADR (欧州危険物国際道路輸送協定)

国連番号またはID番号 : 1950

正式輸送名 :

エアゾール、可燃性 (容積が1L以下で、再充電ができないものであって、かつ、備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。)

分類または区分 : 2

ラベル(Label) : 2.1

容器等級 : 該当しない

分類コード : 5F

特別規定 : 190; 327; 344; 625

少量危険物 : 1L

微量危険物 : E0

包装要件 : P207; MP9; LP200

特別包装規定 : PP87; RR6; L2

輸送カテゴリ(トンネル制限コード) : 2 (D)

運搬特別規定:輸送物(Packages) : V14

運搬特別規定:荷積み、荷卸し及び取扱い>Loading, unloading and handling) : CV9; CV12

運搬特別規定:作業(Operation) : S2

ADN (危険物の内陸水路による国際輸送に関する欧州協定)

国連番号またはID番号 : 1950

正式輸送名 :

エアゾール、可燃性 (容積が1L以下で、再充電ができないものであって、かつ、備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。)

分類または区分 : 2

ラベル(Label) : 2.1

容器等級 : 該当しない

分類コード : 5F

特別規定 : 190; 327; 344; 625

少量危険物 : 1L

微量危険物 : E0

必要装置(Equipment required) : PP; EX; A

換気(Ventilation) : VE01; VE04

ブルーコーン/ライト数(Number of blue cones/light) : 1

RID (欧州危険物国際鉄道輸送規則)

国連番号またはID番号 : 1950

正式輸送名 :

エアゾール、可燃性 (容積が1L以下で、再充電ができないものであって、かつ、備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。)

分類または区分 : 2

ラベル(Label) : 2.1

容器等級 : 該当しない

分類コード : 5F

特別規定 : 190; 327; 344; 625

少量危険物 : 1L

微量危険物 : E0

包装要件 : P207; LP200

特別包装規定 : PP87; RR6; L2

混合包装規定 : MP9

輸送カテゴリ : 2

運搬特別規定:輸送物(Packages) : W14

運搬特別規定:荷積み、荷卸し及び取扱い>Loading, unloading and handling) : CW9; CW12

コリスエクスプレス(速達小包) (Colis express (express parcels)) : CE2

危険有害性識別番号(Hazard identification Number) : 23

#### 環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

#### 特別の安全対策

取扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

運搬に際しては、容器を40℃以下に保ち、転倒、落下、損傷がないように注意すること。

#### MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

有害液体物質(Y類)

トルエン; ポリメチレンポリフェニルポリイソシアネート

有害液体物質(Z類)

アセトン; シクロヘキサノン; プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート; メチルエチルケトン

#### MARPOL条約付属書V - HME(海洋環境に有害)

生殖毒性: 区分1, 1A, 1B 該当物質

トルエン

特定標的臓器毒性, 反復ばく露: 区分1 該当物質

ポリメチレンポリフェニルポリイソシアネート; シクロヘキサノン; アセトン; メチルエチルケトン

#### 国内規制がある場合の規制情報

##### 船舶安全法

ガス類 引火性ガス 分類2 区分2.1

##### 航空法

高压ガス 引火性ガス 分類2 区分2.1

## 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

#### 毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

#### 労働安全衛生法

特化則に該当しない

有機則 第2種有機溶剤等

含有有機溶剤

シクロヘキサノン; アセトン; トルエン; メチルエチルケトン

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

シクロヘキサノン(別表第9の231); アセトン(別表第9の17); トルエン(別表第9の407); メチルエチルケトン(別表第9の570)

名称通知危険/有害物

シクロヘキサノン(別表第9の231); アセトン(別表第9の17); トルエン(別表第9の407); メチルエチルケトン(別表第9の570)

別表第1 危険物 (第1条、第6条、第9条の3関係)

危険物・引火性の物 (-30℃ ≤ 引火点 < 0℃)

危険物・可燃性のガス(令別表第1第5号)

#### 化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質

アルファ-(イソシアナトベンジル)-オメガ-(イソシアナトフェニル)ポリ[(イソシアナトフェニレン)メチレン](3.6%)[ポリメチレンポリフェニルポリイソシアネート(3.5714%)(管理番号585)]

#### 消防法

##### 危険物

第4類 引火性液体第1石油類 危険等級 II (指定数量 200L)

#### 高圧ガス保安法

このエアゾール製品は容器内容積が1リットル以下、及び温度35°Cにおいて圧力0.8MPa以下、かつ高圧ガス保安法施行令関係告示第四条第三項に該当するため、高圧ガス保安法の適用除外となります。

#### 化審法

##### 優先評価化学物質

トルエン; シクロヘキサノン; ポリメチレンポリフェニルポリイソシアネート

#### 悪臭防止法

トルエン

#### 大気汚染防止法

##### 有害大気汚染物質/優先取組

トルエン

#### 水質汚濁防止法

##### 指定物質

トルエン

法令番号 25

#### 化学安全性評価

本製品の化学安全性評価は行なわれていない。

## 16. その他の情報

#### 参考文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN  
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN  
IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)  
IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)  
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)  
2022 TLVs and BEIs. (ACGIH)  
2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)  
Supplier's data/information

#### 責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和3年度(2021年度))です。